

```
\documentclass{jsarticle}
```

```
\oddsidemargin=-1truein
```

```
\addtolength{\oddsidemargin}{10truecm}
```

```
\topmargin=-1truein
```

```
\addtolength{\topmargin}{10truecm}
```

```
%\textwidth=182mm
```

```
\textwidth=210truecm
```

```
%\textwidth=257mm
```

```
\addtolength{\textwidth}{-20truecm}
```

```
%\textheight=257mm
```

```
\textheight=296truecm
```

```
%\textheight=364mm
```

```
\addtolength{\textheight}{-20truecm}
```

```
\headheight 0mm
```

```
\headsep 0mm
```

```
\makeatletter
```

```
\toks@=\expandafter\expandafter\expandafter{%
```

```
\csname selectfont \endcsname}
```

```
\expandafter\edef\csname selectfont \endcsname{%
```

```
\the\toks@\noexpand\setparindent}
```

```
\def\setparindent{\setlength{\parindent}{1zw}}
```

```
\makeatother
```

1. 教えていただいたことを順番にたどっていきたいと思います。

クラス指定とページレイアウト、教えていただいた`\makeatletter` `\makeatother` 文は上記の通りです。

(A) `\normalsize`、`\large`、`\Large`、`\huge` コマンドなどに対して 1 文字分の字下げは問題なく行われます。

(B) しかし、`\fontsize{15}{20}\selectfont` を指定すると字下げは 1 文字分でなくなる。

(C) これがご相談の始まりでした。この場合も、`\Large` を指定すれば字下げは 1 文字分になります。

(D) 帯田さんの最初のアドバイスは`\makeatletter` `\makeatother` 文を書き加えることでした。

(E) アドヴァイスにしたがって字下げ問題は解決したかに思われました。

ところが、上記 verbatim 環境のなかで 2 行目以降に 1 文字分の字下げが起こったのです。

`type1cm.sty` を指定してもこの現象は消えませんでした。

日常生活のなかでめったに使わない環境ですし、各行を`\verb||`のなかに入れるか、1 行目の先頭に全角スペースを入れるかすれば済むことなので、深追いの必要はないのかもしれません。

2. 次に匿名さんと帯田さんから次のようなアドバイスをいただきました。

(F) `\@setfontsize` を使って、`\fontsize{15}{20}`に適当な名前を付けてはどうか。

- i. 名前のつけ方がわからないので、まだ試せていません。

(G) `\def\fs#1#2{%`

```
\fontsize{#1}{#2}\selectfont
```

```
\setlength{\parindent}{1zw}%
```

```
\ignorespaces
```

```
}
```

で `fs` コマンドを定義してはどうか。

- ii. わかりやすいのでこれを使ってみました。

結果は上々です。

`\makeatletter \makeatother` 文を外したので、`verbatim` 環境内での不具合も起きません。

(H) `jsarticle/jsbook` クラスに、フォントサイズに関する適当なクラス・オプションを指定するだけで足りるのかもしれませんが。

iii. `\documentclass[14pt]{jsarticle}` のようなクラス指定をすすめてくださったのでしょうか。

iv. この場合、フォントの大きさが 1.4 倍になるので、`\normalsize` を指定するためには、

```
\def\fs#1#2{%
    \fontsize{#1truept}{#2truept}\selectfont
    \setlength{\parindent}{1zw}%
    \ignorespaces
}
```

と `fs` コマンドを定義し直して、`\fs{10}{15}` としなければなりません。ちょっと不便です。

`\large`、`\Large`、`\huge` を指定するときも同様です。

`\large`、`\Large`、`\huge` のポイント数をいちいち調べることは避けたいと思います。

(I) また、Z. R. さんによる `BXjsclasses` (<http://zrbabbler.sp.land.to/bxjscls.html>) では `\set@fontsize` が再定義されているため、`\fontsize` によるフォントサイズ変更でも `\parindent` の値が代入され直されるようになっていますよ。

v. `bxjsarticle 2013/10/03 v0.9pre` を使って `\documentclass[platex]{bxjsarticle}` とクラス指定してファイルをコンパイルしてみました。

vi. 結果は上々。`\fontsize{.}{.}\selectfont` でどんなサイズ指定をしても字下げは 1 文字分になります。

ありがとうございました。

(J) これで選択肢が 2 つできたわけですが、記法のシンプルさを考えたとき、わたしにとっては `\fs{.}{.}` コマンドが使いやすいのかなと感じました。

(K) おもしろいなと思ったのは、`\documentclass{jsarticle}` で、

```
\fs{.}{.}
```

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむうゑのおくやまけふこえてあさきゆめみしゑひもせすん

```
\fontsize{.}{.}\selectfont
```

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむうゑのおくやまけふこえてあさきゆめみしゑひもせすん

と同サイズを指定すると、`\fontsize{.}{.}\selectfont` でサイズ指定したときにも、1 文字分の字下げは起こるということです。

順序を逆にしたり、異なるサイズ指定をするとダメでした。

以上が、いただいたアドバイスを追った結果です。

すべてを Follow できたかどうか自信はありませんが、報告させていただきます。